

2013年「爪と目」で芥川賞を受賞した藤野可織さんの小説の世界は、他のどの作家の文学とも違っていています。どんなに恐ろしく、ありえないことが起こっても、それが静かな日常と美しくつながっているのです。怖さと美しさが一つに重なる現実とはいったい何なのでしょう。このイベントでは、藤野可織さんへのインタビューや会場の皆さんとの質疑応答を通して藤野作品を深掘りし、その魅力や可能性を探っていきます。

2024年11月22日(金)

18:00 開演 20:00 終了予定(サイン会含む)

場所：甲南大学 iCommons 地階 iStage

参加無料 事前申込制

藤野可織(ふじの・かおり) 1980年京都府生まれ。2006年「いやしい鳥」で文芸界新人賞を受賞しデビュー。2013年「爪と目」で第149回芥川龍之介賞、2014年『おはなして子ちゃん』で第2回フラウ文芸大賞を受賞。他の著作に『ファイナルガール』『ドレス』『私は幽霊を見ない』『ピエタとトランジ』『来世の記憶』『青木きらのちよっとした冒険』などがある。



●申し込み用



●YouTube 配信用



# 怖 い も の は 美 し い

藤野可織さん公開インタビュー